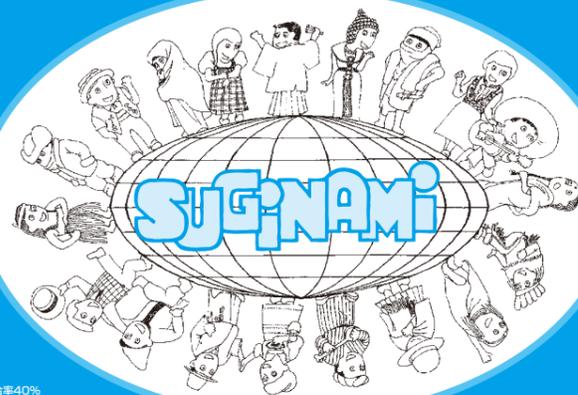
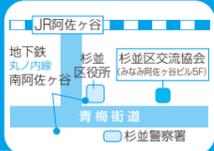


すぎなみ交流ニュース

第27号
2013年1月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식 杉並的交流消息



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

<http://www.suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。 R40 この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

交流の輪を広げ、豊かな地域社会を ～新年を迎えるにあたって～

杉並区交流協会 理事長 井上 泰孝



新年あけましておめでとうございます。杉並区交流協会は3つの大きな使命があります。そのひとつは在住外国人の方々が安心して生活できるように、相談や日本語学習などのサポートをすること。2つ目は国内外の自治体との交流を推進すること。3つ目はグローバル化に対応した国際理解の向上です。

今年も「人と人、地域と地域をつなぐ交流協会」として努力して参ります。

旧年にも増してご支援ご協力をお願い申し上げます。



2012年 海外文化セミナー

インドネシア



島から島へ 海で結ばれた 豊かな文化の国

11月17日(土)午後1時から杉並区立産業商工会館で、インドネシアを紹介する海外文化セミナーを開催しました。関係者を含めて180名余りの方々が参加しました。

インドネシア共和国大使館二等書記官ハルディオノ・クルニアワンさんの挨拶に続き、第1部は、メタ・アストゥティさん(国立ハサメディン大学講師)による「インドネシアと日本の友好～昨日・今日・明日」と題する講演がありました。まずは「インドネシアを知る」お話、名前をめぐるエピソードから。日本人の名前は「姓」+「名」なので、「アストゥティ」を姓、「メタ」を名として使っていますが、実はアストゥティは姓ではなく、4つの名で構成された長い「名前」のひとつなのです。普段は「メタ」で通っているの、日本で「アストゥティさん」と呼ばれると「えっ?誰??」となってしまうこともありました。

次に日本のメディアを観察すると、インドネシアといえば「ジャワカレー」=「辛い」といったメディアが作った固定観念が目につきますが、両国の歴史的な関係はもっと深く長いのだと、だんだんと話の核心に向かいます。鎖国時代も両国の間には交易があり、インドネシアには日本人町がありました。明治以降は、「仁丹」などを売る行商人をはじめ多くの日本人が暮らし、居住者6,485人

(1909年)という記録もあります。ジャガイモは「ジャガタライモ」=「ジャカルタのイモ」のこと。沖縄料理の「チャンプルー」はインドネシア語の「まざる」と同じ。有名なボロブドゥール寺院群と奈良との関係を説く研究者もいます。日本とインドネシアのこれからの関係は経済発展だけではなく、お互いの歴史や文化を知ることにより、より深いものになるはずだ、とまとめられました。

第2部では、リンディック(竹で作られた楽器)の美しい音色を楽しみ、インドネシア各地の舞踊を鑑賞しました。演目毎に変わる美しい衣装も印象的でした。演奏と踊りを披露したのは、「プリ・バダース」と「ドゥタ・ムラティ」の皆さん。そして声だけのパフォーマンス「ゲンジェ」には、杉並区で活動する合唱グループ「ハハハッピー・ハーモニー」が友情出演し、最後のダンスには参加者も加わって会場を盛り上げました。

展示会場では、駐日インドネシア大使館をはじめ雑貨販売店の方々、区内在住のインドネシア人留学生などの協力により、物産の紹介と販売が行われました。インドネシア料理と飲み物も味わった参加者からは、「両国の意外なつながりを知って視野が広がった」といった感想が多く寄せられました。インドネシアの新たなイメージが、より具体的に大きく広がったようです。(広報部T)



リンディックを演奏するイ・コマン・スジャヤさん(プリ・バダース主宰)



声だけのパフォーマンス「ゲンジェ」の様子



展示会場でインドネシア関係者と交流



最後は子どもたちもステージへ



講演者メタさん
インドネシア人留学生

交流自治体紹介

南伊豆へ河津桜を見に行こう!

杉並区と南伊豆町との友好関係は、杉並区が昭和49年に虚弱児童のための「南伊豆養護学園」を開設したことに端を発しています。昭和55年には「弓ヶ浜学園」が開設され、平成14年に民間経営となって、「弓ヶ浜クラブ」と名前が変わっても深い繋がりは続いていました。



弓ヶ浜

平成24年9月に、災害時相互援助協定が結ばれました。

南伊豆町は伊豆半島の最南端に位置し、気候は温暖、四季を彩る花々の美しさ、風景の見事さ、食べ物おいしい温泉もあるという、魅力あふれる観光地と言えます。

●花

春の到来を告げる「河津桜」と菜の花のみごとは、もう有名ですが、極楽鳥花やツツジ、マーガレット、すみれと、1年中いつでも可愛い花が楽しめます。

●食べ物

海の幸の王様伊勢エビを筆頭に、おいしい海産物にあふれ、また山の幸としてタケノコ、シタケ、そして、メロン、ブドウなどのフルーツも甘く実っています。

●温泉

湯量豊富な塩化物温泉で、神経痛や消化器痛に効果があると言われています。町営の浴場や足湯もあり、手軽に温泉に浸かり、のんびり気分を楽しむことができます。



●スポーツ

海のスポーツなら、海水浴、海中散歩、釣り、クルージングなど。陸上では、ゴルフや乗馬もできます。

また、「岬街道」「花街道」「陶街道」と名付けられた三本の街道があり、景勝の地を愛でながら、ゆっくり、のんびり南伊豆紀行を味わうのもいいものです。

リポート特急で行く 南伊豆1泊2日の旅

参加者募集!!

冬まった中の東京を離れて、春を感じにでかけませんか。

新たに杉並区の交流自治体に加わった南伊豆町の春浅き川辺に咲き誇る、目も醒めるような河津桜を見に行きましょう。自然を味わえる散策も予定しています。



リゾート踊り子号

- 【日時】2月23日(土)～24日(日)
新宿から河津まで直通電車
新宿駅6:45集合 24日は19:30新宿着予定
- 【内容】河津桜鑑賞と石廊崎観光、下田市内散策など
- 【参加費】19,000円(往復電車賃・特急料金・宿泊費
(1泊2日3食、温泉・特別料理付き)・お土産付き)
- 【対象】杉並区在住・在勤・在学の方
- 【定員】80名(先着順)
- 【問合せ】伊豆急トラベル下田
Tel:0558-22-3200(平日9:30～17:00 年始可)
- 【申込み】杉並区交流協会
Tel:03-5378-8833(平日8:30～17:15)



イヤ-エンドパーティー

2012 12月15日(土) 於/杉並区立産業商工会館

●会場が狭く感じられるほど大勢の参加者を迎え、2012年を締めくくるにふさわしいパーティーとなりました。



進行後のお団子三姉妹



参加者80人は、ゲームを楽しみながら打ち明け、年賀状製作や民族衣装のファッションショー、フラダンスを鑑賞したり参加したりとパーティーを楽しみました。そして、軽食を囲んでの歓談は、更にお互いの交流を深める機会となったようでした。(広報部Y)



寄せ書き年賀状



杉並区80周年まつり

昭和7年10月1日に杉並区が生まれ、今年で80周年を迎えたことを祝う一大イベントが杉並区80周年まつり実行委員会の主催(共催:杉並区)で10月13日(土)、14日(日)の両日「区立桃井原っぱ公園」にて開催され、関係者の周到な準備と熱意もあり盛況のうちに無事終了しました。

オープニングの田中区长挨拶



二日目の午後には小雨がぱらついたものの、全体として天候にも恵まれ、普段は一面に原っぱが広がる会場も、特設ステージやテントなどの諸設備、そして二日間で延べ9万人超に達した来場者で埋め尽くされ、おそらく区の行事としては過去にない規模でのイベントになったものと思われます。

特設ステージでは吹奏楽・ジャズ・和太鼓演奏、バラエティーに富んだ各種おどり・ダンス、子供向けを含めた各種ショーなどが途切れなく行われ、観覧者を楽しませると同時に、会場全体の雰囲気作りにも一役買っていました。また、特別ゲストの南相馬市の石神第一小学校児童による復興ソングの披露(下掲写真)も行われました。

フィールドイベントとして主に子供向けの工作教室、ミニSL乗車、ポニー乗馬、ごみ収集車見学など盛りだくさんなイベントが開かれ、子供たちも積極的に参加して楽しんでいました。

テント企画としては、模擬店、交流自治体の物産展、展示・物産販売、第3回すぎなみパンまつりなどが100張を超えるテントで行われ、特に人気のある飲食物を販売するテントでは購入を求め人々で長い行列ができていました。

杉並区交流協会もインターナショナルカフェとして、ブラジル風揚げ餃子「パステウ」を販売した学生チームと共にテント出店を行い、交流協会らしく3カ国の料理を楽しめる「世界のLUNCH BOX」や外国の飲み物などを販売、来場者にも好評で早々と予定数を完売できました。

「まつり」終了後は、みごとな手際で諸設備の撤収が行われ、翌日午後には完全に普段の状態に戻った公園を眺めつつ、原っぱだけの公園がこの種のイベントの開催にいかにも有効であるかを改めて実感しました。(広報部 Ka)



ミニSL乗車

杉並区交流協会のテント

イベントの参加者募集

外国人のための無料専門家相談会

Free Professional Consultation for Foreigners

ビザ・結婚・離婚・仕事に関するトラブルや健康保険・教育・病気・税金・その他なんでも、弁護士などの専門家が無料で相談をお受けします。秘密厳守。通訳あり。託児あり。



【日時】 1月19日(土) 13:00 ~ 16:00 (受付は 15:30まで)
【場所】 あんさんぶる荻窪 4F (杉並区荻窪5-15-13)
【専門家】 弁護士・行政書士・社会保険労務士など
【通訳】 英語・中国語・韓国語・タイ語・ビルマ語・ヒンズー語・ベンガル語・ネパール語(予定)
【申込み】 当日会場へ直接お越しください。予約も可
【問合せ・予約】 杉並区交流協会 Tel 03-5378-8833 Fax 03-5378-8844

ジャパン・デイ

Japan Day

日本の伝統文化を紹介する催しです。普段触れることのない日本舞踊・茶道・華道の世界を体験してみませんか? 各伝統文化の披露と実演、体験では先生の指導で一緒に踊ったり、お花を生けたり、お茶・和菓子をいただきます。日本舞踊では申込順で20名まで浴衣の着付け体験もできます。



【日時】 2月2日(土) 13:00 ~ 17:00
【場所】 杉並区立産業商工会館(杉並区阿佐谷南3-2-19)
【定員】 区内在住・在勤・在学の外国人25名、区内在住・在学の日本人学生(中・高・大)25名(いずれも申込順)
【参加費】 500円(材料費含む)
【申込み】 電話・ハガキ・FaxまたはE-mailに行事名・住所・氏名(フリガナ)・性別・国籍・電話番号を書いて、杉並区交流協会へ
【その他】 着付け体験希望の方は申込時に身長と服のサイズをお知らせください

第10回 日本語スピーチ大会

Japanese Speech Contest

日本で暮らしている外国の方の日本語スピーチを聞いてみませんか? 日本で感じたことや自分の国の話などを発表します。多くの方のご来場をお待ちしております。



【日時】 3月2日(土) 13:30 ~ 17:00
【場所】 杉並区立産業商工会館(杉並区阿佐谷南3-2-19)
【定員】 100名
【参加費】 無料
【申込み】 電話・ハガキ・FaxまたはE-mailに行事名・住所・氏名(フリガナ)・電話番号・国籍を書いて、杉並区交流協会へ

Event Information from SACE 交流イベント情報

■杉並区交流協会主催■

- 外国人のための無料専門家相談会
- ジャパnディ
- 第10回日本語スピーチ大会

※以上のイベントは上の記事をご覧ください。

●外国人サポートデスク

外国人の皆様の区役所での手続きのサポートをボランティアが通訳します。英語・中国語・韓国語で対応。

◇日時: 毎週月・金曜日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00 (祝日、年末年始は除く)
◇言語: ①英語: 毎週月曜 13:00 ~ 16:00 金曜 9:00 ~ 12:00
 ②中国語: 毎週月曜 9:00 ~ 12:00 第1・3・5金曜 13:00 ~ 16:00
 ③韓国語: 第2・4金曜日 13:00 ~ 16:00

◇場所: 区政相談課(区役所東棟1階)
 Tel: 03-3312-2111 (内線1129)
◇相談方法: 来所か電話・文書(郵送・Fax・E-mail)
◇費用: 無料

●コミュかるショップで被災地支援を!

杉並区役所1階にある「コミュかるショップ」には、杉並区80周年まつりでも披露された、福島県南相馬市の小学5、6年生たちが作詩し歌う復興ソング「福島から伝えたい」のCDが置いてあります。今までの支援に対する感謝と、ふるさと復興への誓いがこめられた歌声を聞いてみませんか。また、被災地のみなさんが心をこめて作ったストラップが素朴でかわいいと人気です。品物を買って、被災地の復興を応援しましょう。



小学生が歌ったCD

■文化・交流課から■

●南伊豆町の観光物産展

◇日時: 1月21日(月) 10:30 ~ 14:30 (売り切れ次第終了)
◇場所: 区役所中杉通り側入り口前・1階コミュかるショップ前
 ※買い物袋をご持参ください。

●青梅市のパネル展

◇日時: 2月25日(月) ~ 28日(木) 8:30 ~ 17:00 (初日は10:00 ~、最終日は16:00まで)
◇場所: 区役所1階ロビー
◇費用: 無料
 ※上記2件の問合せは、区役所文化・交流課 交流推進担当 Tel: 03-3312-2111 (代表) へ。

交流協会の会員になりませんか?

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費: 個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
 ・法人会員 20,000円/年
会員期間: 入会の月から3月31日まで(当年度末)
会員特典: ① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など」をお届けします。
 ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
 ③ イベント参加費に会員割引があります。
申込方法: 入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



杉並区ワールドカフェ・サロン

一周年記念 12月8日(土) あんさんぶる荻窪

今、ワールドカフェという形でのまちづくりが注目されています。杉並区内では、区内の若者グループ Youth for Sugunami Project (YSP) によって、いち早く取り組みが始まり、12月で1周年を迎えました。年間延べ525名を集めた人気イベント、第12回杉並区ワールドカフェ・サロンを体験してきました。



杉並区の田中区长が挨拶



様々な方が参加



10歳の子、外国の方も



進行役が雰囲気づくりを

このサロンは、「違いを楽しみ、受け入れる」という考えの下、4-5人の小グループに分かれ、エチケット(結論を求めない、模造紙などを自由に使ってコミュニケーションするなど)に基づき進行します。

今回のテーマは「これからの杉並~もし杉並区の100人と「ともだち」だったら?」。進行役の話しやすい雰囲気づくりもあり、初めての参加でも自然に話ができて、人の話を楽しく聴き合いながら1ラウンド20分があつという間に終了。

次は1人が残り、他のメンバーは好きなテーブルへ。各テーブルで話されたことを相互に伝え合いまた話し合う。4ラウンド目は最初のテーブルに戻り、話を更に深める。最後には、全体で意見を共有して終わります。

「私の日常に100の非日常の杉並を持ち込んでくれる。」「100の共有・共感が愛着の街にしてくれる」など、様々な人の思いに触れられ、人の話に耳を傾ける楽しさを再認識しました。人を認め合う、聴き合う杉並のまちづくりに、このサロンは大きな力になるのではと感じました。(広報部K)

当日の詳細内容は下記サイトで。

ホームページ: facebook.com/youth.for.suginami/